

## 活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	東大演習林を学ぶ会		
タイトル	例会-----清澄～郷台林道（自家用車）～郷台林道橋の沢林道分岐～郷台林道～郷台宿舎～猪川林道（安野橋まで）往復～郷台宿舎～郷台林道～清澄		
実施日時	平成29年12月2日（土）9時30分～15時30分		
実施場所	鴨川市		
受講者		F I C会員	13名

### 活動の内容

今回の例会は「紅葉の猪ノ川林道を歩く」と云うことで、県内随一の紅葉スポットである東大演習林猪ノ川林道を訪れました。この時期の猪ノ川林道は過去には一般公開され多くの人達が訪れていましたが、3年前に亀山湖からの道路が岩の崩落によって閉鎖されて以降は訪れることが困難なルートになってしまいました。今回は、南の清澄から林道（郷台林道-----関東ふれあいの道に指定されている）を郷台宿舎近くまで車で北上しそこから郷台宿舎～猪川林道を往復する、但し猪ノ川林道も約2/3程行った地点で現在、橋の架け替え工事が行われており終了点までは進めないため、中途から引き返すプランとなりました。



リンドウ

この時期の花は少ないのですが、歩き始めてすぐにリンドウがお出迎え、更に郷台林道の目玉であるモミ、ツガの大木が観察できます。郷台宿舎では「300年計画：竹（モウソウチク）の開花年限に関する実験」（モウソウチクの開花結実等の現象を300年かけて解明しようとする壮大な計画）や相ノ沢スギ見本林等を見学、午後は猪ノ川林道を歩きました。紅葉は3年前と変わらない見事さ、更に「櫛ノ木台長期生態系プロット試験地」で、シカ害を防護した場合の長期生態系の変化などを継続調査している現場を見学、シカ害を防護しているエリアでは林床にスゲ類やサカキカズラ、さらには比較的珍しい常緑のサクラであるリンボクの幼樹等々生育しているのが観察できました。更に紅葉の道を往復し、晩秋の房総の自然を満喫して帰途につきました。



紅葉の猪ノ川林道に行く



リンボクの幼樹



猪ノ川林道の紅葉